

アルコール製剤「スーパードリーム F-1」と他社製品との除菌・抗菌実験

培地：日水製薬フードスタンプ 標準寒天

試験実施日：2003年4月1日

試験剤仕様

スーパードリーム F-1

エチルアルコール	58.8%
グレープフルーツ種子抽出物	0.08%
フィチン酸	0.05%
精製水	41.07%

既存アルコール製剤

エチルアルコール	67.1%
グリセリン脂肪酸エステル	0.3%
グリセリン	0.2%
精製水	32.4%

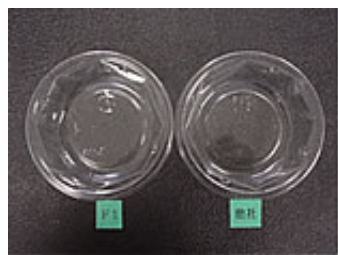
検査の目的

スーパードリーム F-1 を使用直後・濡れた状態にて使用後、それぞれの除菌作用を確認する。

検査方法

- シールウェアよりフードスタンプを使用しサンプルを採取する
- ふらん機にて 37℃・24 時間培養後、その結果を比較・観察する

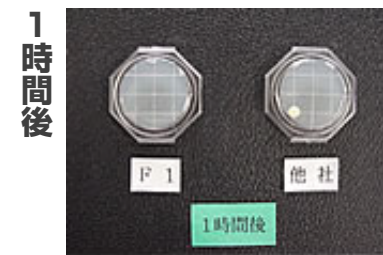
実験



PP 容器にそれぞれの除菌剤を噴霧する
(左：F-1 右：他社製品)
PP 容器を屋外に開放状態で静置する



どちらの製剤も菌の育成は確認できない。
即効性については同等の性能と思われる。



既存製剤にわずかな菌の育成（左下）が確認できるが、F-1 には見られない。



1 時間後と比較して、既存製剤はコロニーが増えている。



既存製剤のコロニーは 1 つであるが、1 時間後と比較してその大きさが大きい。
F-1 には依然菌育成の形跡は認められない。